150103その他の廃棄物処理業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物（小）	労働者規模
1	2017	12	14~15	ゴミの収集作業を終え、収集車は前方に徐行しながら道路へ出て左折し、次の収集場所へ向かおうとしていたところ、収集車後部にある投入口から数個のゴミが道路上へ落下した。 両手でそのゴミを拾い上げて投入口に入れようとしたとき、踏み込んだ右足が道路と歩道の境にあるスロープ状のブロック部分にかかり、そこが下がっていたためバランスを崩して、右足首を捻り転倒した。	52	2	417	100～299
2	2017	12	10~11	ゴミ収集作業中、パッカー車後部のゴミ投入口のゴミが多く、ゴミが落下しそうだった。 両手で押さえた際、もう1人の積入み作業員がゴミを押さえていることに気づかず、積み込みボタンを押したため、回転板が動き、右手が回転板に当たり負傷した。	20	7	229	100～299
3	2017	12	15~16	当社第1リサイクルファクトリ作業場内において、当社従業員は、梱包製品の移動作業中、誤って足元の梱包機用のスロープ段差（数センチの高低）につまずき、前のめりに転倒した。 そのとき身体を支えようと両手を床に着いたとき、手首を負傷したものである。	64	2	417	50～99
4	2017	12	9~10	路上にてごみの収集作業を行っている際に、当該作業員が平ボディ車の荷台に登り、積荷整理をしている最中に、作業員に気がつかず運転手が車両を発進させてしまい、地面に落下してケガを負った。	21	1	221	100～299

5	2017	11	0～1	不燃物収集作業中に被災した。 被災者は、マンション不燃物置場よりパッカー車へ不燃物を持って行こうと、上体を倒し左手に2袋（1kg）、右手に1袋（10～15kg）を持ち上げた際、腰に痛みが走り負傷した。 その後、腰の痛みを我慢し腰をかばいながら作業を続け、終業後受診した。	26	19	611	50～99
6	2017	11	13～14	資源ごみ収集3回目作業中、軒下ごみを収集するため、収集車の右側後ろについて、積み込んでは前に進む流れ作業をしていた。 側溝をカバーしている鉄板に躓き、鉄板を固定しているビスで右膝を裂傷し、左膝を地面に打ち付け負傷した。	50	2	417	100～299
7	2017	11	9～10	特定業務従事者健康診断を受診するため、自宅から受診機関に向かう途上で、地下鉄の電車に乗車するために階段を下りていたところ、階段の最下段に着地した際にバランスを崩して前方に転倒した。 その後、足を引きずりながら健康診断を受けに行こうとしたが、右足首と膝の痛みが激しかったため、勤務先に報告し上司の指示のもと病院を受診した。	56	2	413	50～99
8	2017	11	8～9	資源回収ゴミ（トレイ、発泡スチロール）置場において、近くに止めた2tトラックから降りて、資源ゴミの入っている球状の網袋（直径約1m）を2個ずつ両肩に計4個を抱えトラックまで運ぼうとしたところ、バランスを崩し前方に転び右膝を道路のコンクリート面で強打し負傷した。 当日は打撲程度と思い仕事を続けたが、翌朝右足がポンポンに腫れ歩行出来なくなり診療に及んだ。	50	2	417	10～29
9	2017	11	10～11	4t車でゴミ収集作業中、車両の運転席側から降りようとして、道路と歩道との段差で右足首をひねり、負傷した。 当日は痛みはあったが、そのまま業務に従事し、勤務終了後受診した。	39	19	418	10～29
10	2017	11	14～15	新築現場にて、ペア硝子障子を荷下ろしし、2階に荷上げ作業をしている時に、左肩左上腕を痛めてしまった。	45	19	418	10～

								29
11	2017	11	10～11	処理場内において、バキュームカーの浄化槽汚泥を投入するために伸ばしていた排水用ホースに躓き転倒し、左手首を負傷した。	49	2	417	100～299
12	2017	10	4～5	可燃物収集作業中被災。 被災者は、マンションのゴミ置き場よりゴミ袋を出そうと、ゴミ置き場のドア（鉄製）を開けたままの状態にするため右足で固定し、左足を曲げてゴミ袋を出す作業を続けていたところ、左股関節に痛みが走り負傷した。	50	19	418	50～99
13	2017	10	14～15	ごみステーションにおいて、家庭の可燃ごみを収集する作業中、可燃ごみが入った袋を車両に入れようとしたところ、袋内にコンクリート片（寸法約30cm×30cm×15cm、重量約4kg）が混入されていたためごみ袋が破れ、コンクリート片が落下して右足に当たり負傷した。	57	4	611	1～9
14	2017	10	9～10	廃棄物を収集に入る際、進入防止チェーンを外し、車両が進入したのを確認後、進入防止チェーンを復旧した。 自分が進入防止チェーンの横から入る時に足下のチェーンに引っ掛かり、転倒して右手を突いて骨折した。	55	2	419	1～9
15	2017	10	9～10	可燃ごみの収集のためパッカー車の助手席に乗り、収集場所に着いてパッカー車が停止し、助手席からドアを開けて降りた瞬間に、運転していた職員が後方から来た車を避けるためにハンドルを左に切って発進させたため、右足が左前車輪に接触し負傷したもの。	55	7	229	50～99
16	2017	10	12～13	道路の路肩でトラックの荷台での荷物の整理を終えて、荷台の上から降りる際、とびおりて歩道と車道の段差に右足だけ着地して右足首を捻った。	37	3	417	1～9
17	2017	10	10～	4tユニック車から荷物を降ろす際にユニック車の左側のアオリを降ろし、荷物の確認のため、右側の後輪に足を掛けて荷台へ乗り込もうとした。 その際、ユニック車のタイヤ及び地面が濡	48	1	212	10～

			11	れていたため、右側後輪に掛けていた左足が滑り、地面に左足から落下し、左ふくらはぎを負傷した。				29
18	2017	10	16～17	当社事業場内においてフォークリフトにアルミ缶を乗せる作業中の被災である。 4t車からアルミ缶の入ったフレコン（袋）をフォークリフトのバケットに乗せる作業中、バケットを降ろした時に足を挟み、左足の親指と人差し指を骨折した。 （左第1中足骨、左第2中足骨骨折）	20	7	222	10～29
19	2017	10	10～11	引越作業中、廃棄物の入ったごみ袋を両手で3袋（右2袋、左1袋）を持ち、階段を下りていたところ、右足で持っていたごみ袋の端を踏んでしまい階段を2~3段踏み外した。 バランスを崩しながら着地したため、右足を捻ってしまい負傷したものである。	39	3	611	1～9
20	2017	10	11～12	天井クレーンのバケット交換作業終了後、バケットから降りようとした際にバランスを崩し、6.5m下のピットへ転落。	50	1	211	10～29
21	2017	10	16～17	在庫センターにおいて、スクラップ集荷作業中に足元のスクラップの凹凸に左足がひっかかり、左膝から倒れたため左膝蓋骨を骨折する負傷をしてしまった。	67	2	417	1～9
22	2017	10	9～10	公園入口の車両止めの鍵を外しているときに、自車のサイドブレーキが甘く、またゆるやかな坂道だったため、車が前進し始めた。 車両に背を向けて鍵を外していて又外しづらく手こずっており背後に気を使っていなかった。 徐々に車両が当運転手の方へ進み、車両止めと車両に挟まれる様に当運転手に衝突した。	36	6	231	50～99
23	2017	10	14～15	建設現場で、廃棄物収集作業中にトタンが袋に入っているのに気づかずにつかんでしまい、左手人差し指を切った。	46	8	521	10～29

24	2017	9	9～10	マンションの浄化槽のある場所で汲み取り作業をしている時に、バキュームホースがいっぱい有る所を、走っていて段差に足を取られ足首を挫いたものである。	41	19	417	50～99
25	2017	9	15～16	環境課清掃業務班の非常勤職員である被災者は、午後にごみ収集の作業中、トラック荷台のアオリを開けた時に胸を強打した。	53	6	221	300～499
26	2017	9	11～12	可燃ごみステーションにおいて、可燃ごみを収集車に積み込むため、両足を踏ん張り、屈んだ状態で両手でごみ袋を持ちあげた時に、腰に電気がはしったように感じた、大丈夫だろうと思い、積み込み作業を継続したが、最後のごみ袋（2～3個）をつかみ、投入口へいれようと体をひねったところ、「ビリッビリッ」と激痛がはしり動けなくなったため、病院へ行ったものである。	23	19	611	100～299
27	2017	9	11～12	粗大ごみの収集業務を行っていた。 荷台に積んだ積荷の状態が気になり、もう一度車のステップへ足をかけ、手直しを行ったが、その車のステップから地上へ降りる際、右足から着地し、踵に損傷を負ったものである。	59	1	221	30～49
28	2017	9	9～10	ゴミ集積所において作業中、ゴミ袋を持ってパッカー車へ移動する時くぼみに足をとられ右足首を強くひねり負傷した。	43	19	417	30～49
29	2017	8	16～17	草刈カッター（機械）に草が絡んでいるときに、いつもならば電源を切って草を取り払っているところ、その日だけは電源を切らないで絡まっている草を取ったので、ベルトに右手小指を挟み怪我をした。	26	7	169	1～9
30	2017	8	1～2	可燃物収集作業中、被災者は、収集作業のためパッカー車の運転席より車外に降り（ステップから地面までの高さ41.5㎝）、次の一歩を踏み出したとき、右腰に激痛がはしり、腰部を負傷した。 痛みを我慢して作業を続け、仕事終了後、自宅に戻り就	52	19	417	50～

				寝していたが、夕方起きようとしたときに激痛で立ち上ることができず、救急車で運ばれた。				99
31	2017	8	16～17	中古自動車から取り外された部品の油汚れやサビ等を取り、磨く作業をしていたが、毎日ほぼ1日中その作業となり、指先に力を入れることが多いため、痛みと痺れで手が動かせなくなった。	46	19	921	50～99
32	2017	8	10～11	ごみ収集中に、足を捻り転倒した。	51	19	921	50～99
33	2017	8	15～16	収集した廃ダンボールを処分場で収集車から排出する際、内部に挟まったダンボールを取り除くため、パッカーの安全棒につかまり、右足を車両に掛け、左足で弾みを付けて登ろうとしたところ、左足脹脛を負傷した。 当人は職場に報告せず、独断で医療機関を受診し、翌日以降は装具を装着しながら作業をしていた。 後日、装具未装着で作業中に、負傷した左足脹脛の別の部位を負傷し、労務不能となった。	50	19	921	50～99
34	2017	8	10～11	個人宅で粗大ごみの運び出し収集作業中、ソファーを相方社員と抱えて後ろ向きに歩き出し、続けて敷地内を歩いているとき、自分の周囲の障害物を確認するため上半身を左側に捻ったところ、左の脇腹と背中と腰に強い痛みを感じた。 多少痛みがあったが、ソファーを車に積み込んだあと、車での移動中に、呼吸をすると脇と腰に強い痛みがはしり、我慢できなくなってきた。	31	19	529	50～99
35	2017	8	13～14	当社車庫前において吸引者のフェンダーに上がりタンクの上にいた運転手兼作業員にハンマーを手渡そうとして背伸びをした瞬間に、足をすべらせて転倒しフェンダーにすえつけてあるホースハンガーに左わき腹をぶつけた。	39	2	221	30～49

36	2017	7	10~11	団地内の可燃ゴミ回収業務に従事中、家具を解体した板の束（長さ2m、6枚）をパッカー車の回転盤の中に入れたところ、板が長かったため全て回転盤の中に入りきらなかった。 残りを右足で蹴って押し込んだ際、回転盤に右足首を挟まれ負傷した。	64	7	221	100～299
37	2017	7	8~9	朝礼が終わり、仕事にとりかかるため持ち場につこうとした時、床に敷いてあるスノコに足が引っ掛かり、膝から床に倒れ、両膝を強打した。	65	2	417	100～299
38	2017	7	14~15	豪雨災害により、暗渠内で、土砂を強力吸引車にて吸引しながら撤去する作業中、吸引ホースを土砂に近づけようとした際、暗渠内が暗く、ぬかるんだ土砂で足を滑らせてしまい、バランスを崩して左腕を肩まで吸引された。	23	7	418	30～49
39	2017	7	13~14	草刈り業務の作業中に気分が悪くなったので休憩を取ったが良くならなかった。 （当日は日常の作業と異なり慣れていないため暑さがこたえたように思われる）	50	11	715	50～99
40	2017	7	15~16	空き缶の磁送別作業中に、コンベアーのゴムベルトとローラーの間に缶が入り込み、それを取り除こうとして、左腕を巻き込まれベルトとローラーの間に挟み込まれ被災した。	25	7	224	10～29
41	2017	7	11~12	収集コース途中にて粗大ゴミ（木製テーブル）を収集時、パッカー車の後部回転ばん作動中に木製テーブルを押し込んだ際、回転盤に接触し右手親指と人差し指を負傷した。	59	6	221	30～49
42	2017	7	10~11	し尿処理場の汚泥ホッパー室で、コンベアのグリスアップ作業を実施後、コンベア付近に置いた作業道具を片付けるために梯子を登ったところ、足を滑らせ転落。 床に強く左手を突き、また、床面に右肩と頭を打った。	58	1	371	1～9
43	2017	7	14~15	回収した資源物（ペットボトル）を処理施設に移送するため、飛散防止ネットを装着する際足を滑らせトラックの荷台から落下し、頭と腰を打撲した。	50	1	221	50～99

44	2017	7	10~11	集積所において資源物（ビン、カン、ペットボトル）の収集作業中ビンの入っているカゴの中に割れた花瓶（不燃物）を取り出そうとした時右手人差し指の手の甲付近を切り負傷した。	40	8	529	30～49
45	2017	7	14~15	養豚場で豚の死骸の回収作業中、回収用鉄箱からはみ出していた豚の足にロープを縛り、鉄箱に入れるため、トラックの荷台に乗りロープを引っ張ったところ、ロープが抜け、そのはずみで足を滑らせて荷台から落下し、負傷したものである。	43	1	221	30～49
46	2017	7	14~15	リサイクルセンター内で、産業廃棄物の分別作業中、硬質ポリエチレンを切断するため、ディスクグラインダーを使用していたところ、材料を抑えていた左手が滑り、グラインダーの回転刃が左手人差し指と中指の第一関節付近に接触し裂傷を負った。 滑り難いゴム製手袋を装着していたが、一瞬の油断が事故を招いた。	24	8	153	10～29
47	2017	6	15～16	団地内客先にて、廃棄物の収集運搬をする為、軽ダンプの荷台に上って作業をしていた。 荷の積込みが終わったので、荷台上部から後向きに飛び下りたところ、下で作業していた同僚に接触し、足を捻って転倒した。	66	3	221	1～9
48	2017	6	10～11	ミニダンプカーを運転して、ごみの収集場所に向かう途中、信号待ちで停車していたところ、後方車両に当方車両の後部に追突され、負傷したものである。	49	17	221	50～99
49	2017	6	10～11	一般家庭ごみ収集中、ごみ袋を持ち作業車に搬入する為、左側に足を捻った時、左足膝裏に痛みがはしった。 その後、激痛になって作業が出来なくなった。	57	19	611	30～49
50	2017	6	9～10	古紙・衣類収集作業中、片手に段ボールを持ち、前方の段ボールを取りに向かっていたところ、交通標識下部の歪曲している部分に左足が引っ掛かって転倒した時、咄嗟に右手を地面に着いたことにより、右手、右手首付近を負傷した。	60	2	417	100～299

51	2017	6	9～10	ごみ集積場所において収集作業中、掴んだごみ袋に割れたガラスが入っており、手袋ごと指を切り負傷した。	56	8	611	50～99
52	2017	6	9～10	被災者は燃やすごみ収集作業のため、清掃車中央座席に乗車していた。 清掃工場へごみを搬入後、次の集積所に行く途中、交差点で運転手が車を停車させ、信号待ちをしていたところ、後ろから大型ダンプに追突された。 追突の衝撃で首と唇を負傷したため、救急搬送された。	45	17	221	100～299
53	2017	6	9～10	被災者は清掃工場へ燃やすごみを搬入後、次の集積所へ行く為、清掃車を運転していた。 交差点で信号待ちをしていたところ、後ろから大型ダンプに追突された。 追突の衝撃で首を負傷したため、救急搬送された。	51	17	221	100～299
54	2017	6	9～10	し尿収集作業を終え、汲取りホースを持ちバキューム車へ戻る時に、玄関前の階段を踏み外し、左足をひねり転倒した。	38	2	413	100～299
55	2017	5	15～16	構内において、休憩中に階段を下りていて足を滑らせて転倒し、その際に左足の太もも外側を打ちつけて肉離れを起こした。	42	2	413	30～49
56	2017	5	8～9	ごみ収集作業をするため、運転席から降りる際に右足から降り、次に左足を着地させようとした時、地面の状態が悪く左足に体重がかかり足首を捻ってしまった。	36	3	229	100～299
57	2017	5	13～14	2tトラックにて粗大ゴミの回収作業をしている時、積み終えて扉を閉めた際に親指を挟み骨折する。 両開き扉の右側を閉じる時に、左側が半開きになっている状態で左手を添えたままで閉めた為に起きた。	54	7	221	30～49
58	2017	5	8～9	一般道でゴミ回収委託業務中に、靴が合わない状態で走りゴミを回収したところ、右足に激痛がはしり、立つことができなくなり倒れた。	54	19	921	30～49

59	2017	5	8～9	コンテナの交換をユニック車のクレーンで作業中、雨で足が滑り荷台の上から落下した。	51	1	212	10～29
60	2017	5	10～11	廃棄物の回収現場で廃棄物を車輌に積み込む作業中、廃棄物の入った45?のビニール袋を両手で持ち上げなければならないところ、片手で持ち上げた時に右手親指を負傷した。	26	19	611	10～29
61	2017	5	10～11	ゴミを収集していたところ、重いゴミを持ち上げた時に、急に腰が痛くなり、我慢して収集していたら、痛みがひどくなってしまった。	46	19	611	10～29
62	2017	5	11～12	車線のない狭い道路で帰社途中、車で移動時に対向車を避けようとして田に落ちそうになり、慌てて右にハンドルを切り過ぎ、戻そうとしたら、運転していた車が横転してしまった。	58	17	221	10～29
63	2017	4	9～10	ドラム缶に入っていた真鍮ワイヤーを出荷用のフレコンバックに作業手袋を使用し移し変える作業中、フレコンバックからワイヤーがはみ出していたので入れ直そうと左手に力を入れてワイヤーを引き上げた際、ワイヤーで左手示指を切ってしまい、左手示指を負傷した。	31	8	521	30～49
64	2017	4	8～9	可燃ごみ収集中、左足を軸足として作業していたが、足元の段差で滑ってしまい、体ごと左側に倒れた。 痛みはあったものの捻挫だと思い作業を続けたところ、指先までしびれだした。	39	2	417	50～99
65	2017	4	23～24	蒸気タービン発電機室において、タービン停止後、冷却のためのターニングモータとギヤ嵌合を自動で行う工程中、嵌合ができないので手動で行おうとハンドルを差し込んだところ、突然ハンドルが回転し、左前腕部に当たった。	37	7		50～99
66	2017	4	13～14	住宅街の路上に排出された普通ごみを収集作業中、ゆっくりと走行していた作業車の運転手から車に乗るよう促され咄嗟に向きを変えた時、舗装状態の悪い路面の段差に左足をとられ、左	50	19	416	100～299

				足首を外側へ捻った。				
67	2017	4	8～9	被災地の場所で、家庭ごみ収集作業を行うため、集積場所に車を止め降りたところ、縁石上に足を降ろしてしまいバランスを崩し、右足首をくじいた。	31	19	417	50～99
68	2017	4	10～11	同僚とゴミの回収作業中、回収箱の中からゴミを持ち上げていたところ、同僚のゴミ袋が回収箱の蓋を支えていたひもに引っかかり、蓋がしまってしまい、倒れてきた蓋に頭を打った。	52	6	419	10～29
69	2017	4	9～10	当社工場に於いて、銅板（幅3cm・長さ20cm・厚さ3mm）に付いているネジを削りとるために、銅板をプライヤーではさんでサンダーで削っていた際、誤って右手親指がサンダーに触れてしまい、親指外側を負傷した。	70	8	153	30～49
70	2017	4	9～10	ゴミステーションで、ゴミの収集作業のため駐車している塵芥車の荷台に向かう途中、舗装道路と砂利の段差で足を挫いて負傷した。	49	2	911	10～29
71	2017	4	8～9	土場にて解体作業の金物を片付け中、誤って手を滑らせ厚さ5cm程度の鉄板に左手薬指を挟み、安全手袋を履いていたが左手薬指先端（第一関節から上）を負傷した。	75	7	521	1～9
72	2017	3	7˜8	可燃ごみを収集していたところ、左折してすぐの場所に可燃ごみが1袋出ていた。 助手席を降りてドアを閉め右足を一歩踏み出した時に、乗っていた車の前輪タイヤに左足（踵）を巻きこまれた。	28	7	221	30～49
73	2017	3	11˜12	資源ごみ収集作業終了後、洗車場にて自動巻き上げリールより洗車用ホースを伸ばしていたところ、予期せぬ時にホースが自動巻き上げリールに勢いよく巻き取られ、ホースに左手を添えていたため左手拇指をホースがこすり、左手拇指を負傷した。	56	8	911	100～299
				当社リサイクルセンター内にて、ドライバーが回収してきた廃棄物（ビン缶類）の入った袋を分別するため作業台へ運んでい				50

74	2017	3	10˜11	る途中、誤って台車に足を引っかけてしまい、左体側を下にして台車の上へ乗った状態になり、台車ごと横転した。 左太もも付け根付近に強い痛みがあったが作業を続けたところ、痛みがさらに強くなった。	69	2	362	～ 99
75	2017	3	13˜14	ゴミ（段ボール）ヤード内で、段ボールの回収作業中、ラックに入っている段ボールを取っている時、勢い余って段ボールが右目にあたり負傷した。	51	4	529	10 ～ 29
76	2017	3	8˜9	取引先において不燃物収集の際、持ち上げた袋に入っていた割れたガラス片が運ぶ途中に右足ふくらはぎに当たり、約5cm程肉をえぐる形で切った。 割れたガラス片として、個別包装も表記もされていなかった。	49	8	529	50 ～ 99
77	2017	3	9˜10	一般不燃物（丸太、長さ40cm～50cm、太さ直径25cm位）を塵芥車に積み込み中、左手中指を挟み骨折した。	62	7	522	10 ～ 29
78	2017	3	0˜1	第一工場内の選別ラインにて、休憩前清掃時にコンベアに異物が巻き付いていないか確認中、コンベアの下方にあるコンベアリターンローラーに粉物が付いていたので、スクレーバーで除去していたとき、コンベアを停止しないで作業をしていたため、回転していたローラーに右腕が巻き込まれ手首を骨折した。 マニュアルでは、清掃するときは機械を停止してから作業するようにとあり、就業開始時も指示しているが、今回は機械の電源を切らないで作業をしてしまった。	27	7	224	10 ～ 29
79	2017	2	10˜11	巡回したところ、コンベア内側に異物があった為取り除こうと手を入れてしまい巻き込まれた。	28	7	224	30 ～ 49
80	2017	2	10˜11	信号の無い交差点で優先される道路を北から南進している時、一旦停止を無視して東から西進してきた軽トラックと接触した。 負傷し受診したところ頚椎捻挫、腰椎捻挫、胸腹部打撲と	42	17	221	50 ～

				診断された。				99
81	2017	2	9˜10	敷地内にて、トラックへ廃棄物を積み込み飛散を防ぐシートをかける作業を行っていた際、バランスを崩しトラック荷台から地面へ落下し頭部を負傷した。	55	1	221	—
82	2017	2	15˜16	床から50㎝位の高さの作業台の上に立ってプラスチック容器の選別作業をしていた時、台の上に散らばった物を拾う為に屈んだ際、バランスをくずし台から落下した。 その際、顔面と右腕を強打し、顔面裂傷と右腕骨折となった。	73	1	391	10～29
83	2017	2	11˜12	アームロール車のコンテナに積まれた鉄くずを降ろす作業中、後方アオリの3枚扉の上部を開け、下部を開けようとストッパーを外した際、積荷による外力で扉が勢いよく開き、押さえていた左手薬指の尖部を扉と下部ローラーに挟み尖部を切断した。	47	7	221	—
84	2017	2	9˜10	ゴミ収集車でゴミを回収する作業を終えてクリーンセンターに到着し、収集車に積んだ生ゴミを空ける作業に取り掛かろうとした際、トイレに行きたくなったためにトイレへ歩いて向かっていたところ、鉄製の排水溝の蓋に足を取られてバランスを崩し、左足を負傷した。	61	2	417	30～49
85	2017	2	18˜19	事業主の資材置場より、鉄スクラップをトラックで運搬している途中、サイドミラー越しに、荷台から鉄スクラップがはみ出ていることに気付いた。 場所は公園運動場近くで、道路が駐車禁止ではないことを確認の上、その道路上でトラック荷台にのぼり、鉄スクラップを荷直ししている際、その鋭利な部分に触れ、右手を負傷した。	46	8	521	1～9
86	2017	1	6～7	客先ゴミ置き場において、廃棄物の回収を行っていたところ、廃棄物積み込み時に腰に激しい痛みを覚え、立てない状態になった。 なお、以前より腰痛はあった。	25	19	611	100～299
				倉庫内でダンプ（2tロング）から不燃物をフォークリフトのパ				

87	2017	1	15〜16	レットに積んだ後、パレットからフォークリフトづたいに降りる途中、バックレストに両手で掴まりフォークリフトのタイヤとのカバーに右足を掛けたとき、フォークリフトに掴まっていた手（手袋着用）が滑り、高さ約80cmのタイヤ上のカバーから地面につま先より落下し、右足アキレス腱を断裂し、転倒した。	57	1	222	10〜29
88	2017	1	9〜10	プラごみ積み込作業中、持ち出し場所とパッカー車までの間をごみを持ったまま往復し積み込んでいた際、プラごみと同時に出されていたダンボールが見えなかったため、つまずき転倒した。	57	2	911	100〜299
89	2017	1	14〜15	第一工場内でペットボトルプレス品を、パレットに積み込み作業中、ポケット（装置）に溜まったカスを清掃しようと思い歩行移動中、床面に露出した配線につまずき転倒した際、装置のレールに腰を打ち、左大腿骨頸部を骨折した。	66	2	351	30〜49
90	2017	1	9〜10	空き缶、ペットボトル収集のため、停車した後、車両に歯止めをして、集積所へ向かう際にマンホールのフタに左足がつまずいた。 マンホールのフタは元々、少し浮いた状態であり、2〜3歩よろけて前のめりに倒れた際に、両手を地面につき、右肘を痛めた。	58	2	419	—
91	2017	1	10〜11	可燃ゴミを回収中、運転席より下車した際に道路と側溝の段差に足を取られて捻ってしまい、右足を負傷した。	55	19	417	30〜49
92	2016	12	4〜5	焼肉店駐車場にて、資源ごみ回収作業中に車両から降りる際、車止めに着地しバランスを崩し、右足を捻ってしまい負傷した。	48	19	921	1〜9
93	2016	12	10〜11	分別した廃棄物を入れるためのコンテナを挟んで、作業員2名で分別作業を行っていた際、別の1人がコンテナに当たった。その際、コンテナが動き、右膝にあたった。	21	6	611	30〜49

94	2016	12	9～10	道路上でごみ収集作業中、収集車に積み込んだごみ袋にネットをかけるため荷台の上に上がった際、荷台の淵に乗せていた左足が滑り、バランスを崩して転倒し、地面に落下して左手を強打した。	48	1	221	50～99
95	2016	12	5～6	得意先にて、ゴミの収集作業のためゴミ庫の扉を開けてゴミをゴミ庫から出していたところ、風でゴミ庫の扉が急に閉まって、顔の右目の横側部位に当たり、負傷した。	46	6	419	30～49
96	2016	12	15～16	普通ごみ収集時、ビルの集積場のごみを取ろうと勢いよく前にかがんだ際に、門柱の梁で前頭部を強打し、後ろに倒れて動けなくなった。	41	3	415	100～299
97	2016	12	20～21	120?のカゴに入ったリサイクルゴミをトラックに積み、カゴを元に戻し帰ろうとした時、雨でごみ置き場のタイルが濡れていて足を滑らせ、左側頭部と腰を強打。	67	2	417	10～29
98	2016	12	11～12	粗大ごみ収集中、排出場所の確認のため車を降りようとした。その際、足元を十分に確認せず降りたため、左足を歩道の段差に着地してしまい、足を縦に捻った。	54	3	417	50～99
99	2016	12	9～10	焼却施設内で焼却炉ロータリーバルブの固まった灰を除去する時に、本来、電源を切って行うところ、切り忘れにもかかわらず切ったと思い込んで、手袋をした左手を中に入れてしまい、負傷した。	64	7	169	10～29
100	2016	12	10～11	県道を走行中、交差点の信号を見落とし、走行中のトラックに衝突した。運転席フロント部分が押しつぶされ、右足が挟まれた。	43	17	231	10～29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：労働災害の分類の概要

各小業種における死傷災害100事例（-2017年）に戻る。